

不老不死，永遠の美女伝説をもとに

エロスの極限にいどむ
若松孝二官能の世界！

Eros Eterna

松田英子主演/若松孝二監督作品

聖母観音大菩薩

松田英子/佐久田修(新人)・浅野温子(新人)/蟹江敬三・鹿沼えり・石橋蓮司/殿山泰司・阿部寿美子・北上弥太郎

企画 ■ 葛井欣士郎・若松孝二/脚本 ■ 佐々木守/撮影 ■ 伊東英男/照明 ■ 磯貝一

音楽 ■ 三木 稔/美術 ■ 野尻 均/編集 ■ 竹村俊司/助監督 ■ 栗原幸治

撮影助手 ■ 長田勇市・倉元進一/照明助手 ■ 前田基男・西池 章/監督助手 ■ 奥出哲雄・成田裕介

衣裳 ■ 富士衣裳/美粧 ■ 芹沢恵美子/車輦 ■ 松崎光翁/スチール ■ 池田克美/録音スタジオ ■ ニューメグロスタジオ/現像所 ■ 東映化学



カラー・ビスタサイズ 若松プロ・ATG提携作品

近日ロードショー

日劇地階アート・シアター・チェーン (201)
日 劇 文 化 2111

Eros Eterna

●キャスト
八百比丘尼……松田 英子
少年……佐久田 修
少女……浅野 温子
青年……蟹江 敬三
若い女……鹿沼 えり
若者……石橋 蓮司
老人……殿山 泰司
年配の女……阿部寿美子
中年男……北上弥太郎

聖母観音大菩薩

●解説

この映画は「愛のコリーダ」のプロデューサーとして話題を集めた若松孝二監督が、「天使の恍惚」以来久々に、本来の監督にかえってメガフォンを握る異色作で、佐々木守が永年、暖めつづけていた原案を推敲、脚本化したファンタスティックなメルヘンドラマである。人間永遠のテーマである生と死。本当の優しさとは？ 思いやりとは？ いたわりとは？ 人々が求めてやまない課題にいどんで、若狭小浜の美しい自然を背景に描く、奔放なファンタジイである。主役、聖母のような、ミステリアスな永遠の女性、八百比丘尼には「愛のコリーダ」の松田英子。劇の進行役の少年、少女には新人、佐久田修、浅野温子。若い女には鹿沼えりを起用。石橋蓮司、蟹江敬三、殿山泰司、北上弥太郎等のウェテランが夫々のエピソードをうけもつことになっている。撮影と照明は若松監督と常にトリオを組んでいる伊東英男、磯貝一。音楽は「愛のコリーダ」の三木稔が担当する。

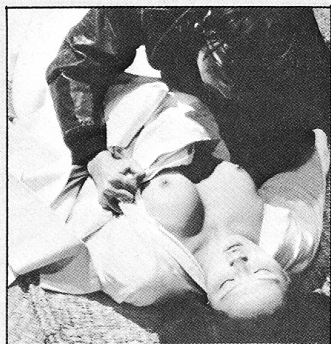
●物語

この物語は、小川未明「赤いろうそくと人魚」アンデルセン「人魚姫」の二つの童話と、八百才まで生きて、なお乙女の面影をもつという、不老不死の美女、八百比丘尼の伝説によって、幻想的に幕を開ける。

色あざやかに白樺の咲く若狭彦神社の境内で、白い衣をまとった八百比丘尼が、今日もまた、奉仕の日を送っている。「竜神の人魚を盗み、その怒りにふれ、八百年も生きて入滅できぬのは、衆生の済度がたりないせいなのか」神殿に額づく比丘尼の姿を、奇異の瞳をこらしてみつめる少女と、少年がいる。

夕焼けの海辺を一人の老人が行く。その皮膚はかさぶたにおわれ、町の人々からは乞食あつかいにされている。

老人は比丘尼を自分の小屋にむかえ入れ、二人の生活が始まった。彼女はひたすら老人につくした。彼女の腕の中で「浦上のマリア様でも救ってくれなかつたのに……」と、老人は恍惚の吐息をもらし、彼女こそ仏、観



音様だと涙を流しながら死んでいた。

この小屋に血まみれのナイフをかざした青年がとびこんで来た。ウタリと名のるその青年は裏切ったヤマトの女を刺して逃亡中であつた。あなたが殺さなければならなかった人の代りに、私を。そう叫ぶ彼女を青年は犯しはじめる。

異常な興奮の中で、次第に二人は一つになつていく。その時、ふみこんで来た刑事たちに青年は連行されていく。その時、闇の中に立ちつくす比丘尼、そのすべてを少年がみていた。

神社の境内で異常性格の中年男にいたぶられている若い警女を比丘尼が助けた。人生の喜びを知らないその娘は、狐つきであつた。比丘尼はその娘のために、自らの身体を開き、狐を彼女の中にみちびこうとする。二つの白い肌が寂漠の中で美しくもつれ合い、とけてゆく。翌朝、白みかけた海辺に若い女の三味線と草履がひっそりと並べられていた。



少年はその光景もみていた。少女を砂浜につれ出した少年は少女をおし倒した。怒った少女は少年の手をふりきって逃げ去った。

中年男が比丘尼のところにお止めにきた。とりあわない彼女に突然中年男がおそいかった。抵抗する比丘尼、その時男の性が回復する。男は始めて犯す喜びを知つたのである。

しばらくして、町では何人もの少女が痴漢に襲われたという噂がひろがっていた。そんな時、シャツは千切れ、血まみれに傷ついた若者が十数名の男に追われて小屋に逃げこんで来た……。

